

2021年度 第4回理事会議事録

日 時 2021年9月30日 19:00～
場 所 WEBミーティング

出席者

林(会長/大島HP),加藤木(副会長/前橋保健所),横澤(日本協会代議員/くわのみり),福永(ケ・クリニック),佐藤(田中HP),小林(つつじ),鎌塚(上毛HP),茂呂,(サンピ)片山(ｱﾙｶﾃﾞｲｱ),永尾(赤城高原HP),鈴木(群馬HP),池田(監事/高健大),天笠(監事/三枚橋HP),狩野(事務局長/田中HP),原島,藤井(事務局/田中HP)

《林会長挨拶》

皆さまお疲れ様です。お忙しい中ご参加いただき大変ありがとうございます。今年第4回目の理事会になります。北海道大会に参加された皆様お疲れ様でした。懇親部会の皆様のご協力にもより、大盛況となりました。この場を借りて感謝申し上げます。日曜日にはブロック会議が予定されており、子ども家庭福祉の資格のあり方など共有していきたいものがあります。本日も盛りだくさんではありますが、理事の皆様の積極的な意見を頂き、すすめていければと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

1. 事務局報告

①第3回理事会の振り返り

- ・第3回目の理事会は7月8日に開催。

②新規入退会者について

- ・入会希望者4名、退会希望者4名。入会希望者1名は今年度会費納入済み。3名は未納。退会希望者4名は全員会費納入済み。宜しければ承認願いたい。
→異議無く承認。

- ・納付状況、更新状況について
地区ごとに状況報告し、共有。

→状況把握とまずは役員の納付と更新を行っていく。12月にも状況確認行う。

③定例会について（東部地区）

- ・8月20日(金)ハイブリッド形式でやる予定だったが、警戒度があがってしまったので、全てオンライン形式で行った。
- ・研修講師は弁護士法人龍馬おおた事務所野代綾乃氏に依頼。テーマは「法律事務所におけるソーシャルワーカーの役割。」研修資料がホームページに載っているので確認して欲しい。
- ・聞きなれないテーマだったためか、質疑応答も活発であり、有意義な研修会となった。
- ・オンラインの研修であったが、開催者側としてはシステム上の不備もなくスムーズに行えたと感じた。参加された皆はいかがか？

→対面ではないので若干のタイムラグがあったりはしたが、行かずともアクセス出来ることはありがたかった。業務の合間に入りながら参加出来たのでやりやすかった。

（西毛地区）

- ・10月15日(金)14時からオンライン形式で90分の講演と情報交換を行う予定。講演テーマは「精神科病院から虐待をなくすために私たちは何をすべきか」。講師は一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会会長北岡祐子さんに依頼。
- ・Facebookのアクセス数が今までにないくらい多い。興味関心があると思われる反面、荒らされる心配もあるため、ホームページに載っていたIDやパスワードは会員ページに移してもらった。

- ・定例会は会員のみが参加できるものとし、細かい登録方法等については追って検討していく。

④後援依頼について

- ・第11回群馬高次脳機能障害リハビリテーション講習会から後援依頼がきている。承認いただけるか？
→意義無く承認。

⑤派遣依頼

- ・群馬県介護給付費等不服審査委員会に田中病院の中島あいさん。
- ・令和3年度大阪府災害派遣福祉チーム員ステップアップ研修にDWATの経験もある田中病院の篠原智哉さん。
- ・精神保健福祉協会「若者のメンタルヘルス事業」として太田高等看護学校に中嶋副会長と片山さん。

⑥連携共同

- ・第2回医療介護連携フェスティバルin高崎

オンラインで動画配信をメインに開催。令和3年12月1日～令和4年2月28日まで動画を公開予定。当会の動画はMHSWの仕事ということで動画作成中。動画が出来てきたらchatworkに上げるので、是非皆様からご意見をいただきたい。

- ・ソーシャルワーカー三団体の情報交換会

8月5日（木）に情報交換会を行いそれぞれの会長、副会長が参加した。最近の活動の話や、ソーシャルワーカーデーの振り返り等を行った。

医療ソーシャルワーカー協会が、去年公明党に外国人の医療費の補填を求めたものが通ったことを、中井会長が喜んで話していた。

連携事業の一つとして3団体共同で身元保証について話してみないかと話が拳がっている。3団体で広報紙を出したい、災害支援について来年度研修会したいと話が出ている。

- ・北関東3県合同研修会

社会的復権をテーマに日本精神保健福祉士協会相談役北海道十勝障害者支援センターの門屋先生にご講演いただく。その後3会長に語り合ってもらって、アンケートにも答えてもらう。11月3日（水）13:30～実施予定。是非ご参加いただきたい。

- ・「ぬまたとね医療・介護連携相談室」より「医療・介護への仕事凶鑑」へのリンクのお願い

皆様からの承認で返事させていただきたい。内容についてもご確認、ご意見いただきたい。

→あやしい団体からのリンク依頼でなければ承認していいと思う。

→内容についてはchatworkを利用して確認していきましょう。

⑦新型コロナウイルス対策本部報告

・9月21日に原病院でクラスターが発生。原病院の金子さんからメールで状況報告や協力依頼がきている。入院患者20数名陽性。13名が他病院に転院。ほとんどの方が伊勢崎市民病院に収容。中には日赤が収容したケースもある。県立精神医療センターに1名入院。職員はほとんどが無症状か軽症。有料老人ホームにも陽性者が出ている。輪番は受けるが入院が少し受けられなくなるかもしれない。家族からのクレームもワーカーが対応している。と報告あり。

2. 日本精神保健福祉士協会総会関連

①第56回全国大会・第20回学術集会報告

・北海道大会は群馬県での全国大会の前年ということで普段の全国大会と違った構えた状態で臨んだ。オンラインだったが一部の通信障害以外、アクシデントもほとんどなく、グループワークもよく出来たスムーズであった。精神保健福祉士のあり方を問う強い思いを感じる感動的な大会であった。懇親部会も気合が入

っていて、オンラインでも工夫してもらって楽しかった。

②2021年ブロック会議報告

- ・オンラインで前半は全国一斉に会議を行い、後半は地域ごとのブロック会議を行った。理事会のチャットワークで資料を流しているので拝見してもらいたい。
 - ・日本協会の中期ビジョン2020という5ヵ年の振り返り。施策提言、人材育成、組織強化。それぞれの柱が5年間でどうなったかという報告。
 - ・精神保健医療福祉の将来ビジョン。20年後の日本社会で精神保健医療福祉がどういう状態になっているか？どういうものが望ましいのか？すべての人にこの国に生きる幸せをというスローガン。
 - ・医療基本法というものを作っていかうという動き。医療関連の親法といった法律で、人権の理念を盛り込む。
 - ・組織強化について都道府県支部の支部アンケートの集計の報告。
 - ・基幹研修について各県の開催状況報告。ほとんどがオンラインで集合型は群馬ぐらい。基幹研修2については来年度か、再来年度に、北関東でやらなくてはいけなくなりそう。
 - ・GWでは将来ビジョンの話や国家資格のあり方について皆で話し合った。
 - ・精神保健福祉士の国家資格は今後どうあるべきか？
 - ・来年度から代議員の選挙があり、12月中旬から1月中旬にかけて予定されている。
 - ・第2回のブロック会議が2月6日（日）に予定。出来るだけ集合してやりたいと声が挙がっている。
 - ・栃木県協会が一般社団法人化される予定。
- 当会からは2、3千円を祝電として送ることを考えている。

③「MHSWと名乗ろう」キャンペーンについて

- ・働く職場という障害者の就労に関する冊子にMHSWの座談会と書いてあるものがある。MHSWが使われていて場の中でどう浸透させていくかを皆に依頼をかけている。意識してMHSW使ってもらえればありがたい。よろしく願いたい。

④令和3年度こころの健康づくり対策事業「心のケア相談研修」構成員派遣の依頼

- ・日本協会へ確認して福永さんの参加の意向もとれたのでメールした。詳細がきたら福永さんに伝えます。

3. 委員会からの報告事項

【ソーシャルワーカーデー】

- ・7月17日（土）13:30～オンラインで開催された。メインテーマとしては身元保証問題について誰でも安心した生活が送れるために。第1部が講演。第2部が実践報告。第1部の身寄りのない人の不利益をどうとらえるかについて金沢大学名誉教授の井上英夫先生、弁護士法人龍馬おおた事務所に所属されている板橋俊幸先生に講演いただいた。実践報告は県立の米山さん。来年度の幹事団体は群馬県社会福祉士会。

【教育研修委員会】

- ・2021年度2回目の委員会会議を7月7日（水）。3回目を9月16日（木）にオンラインで開催。研修会については2021年1回目8月29日（日）13:30～17:00にオンライン形式。実践共有はまだ探し続けているんだ私の中のソーシャルワークを。実践報告を中嶋副会長、群馬労働局の神尾さん、西毛病院の工藤さんの3人に実践報告をいただいた。進行をサンピエール病院の横田さん。後半は2回のグループワーク。日頃の思いや、将来像をざくばらんに話した。参加者は30名。学生9名参加。アンケートではおおむね好評であったかと思われる。
- ・2回目の研修会を11月21日（日）14:00～16:00 ZOOMミーティングでオンライン形式。内容としては愛着障害とか周辺領域の虐待防止関連で前橋赤十字病院小児科副部長の溝口先生に講演いただく。これからチラシを作り広報を考えている。対象者を当会の会員や学生に限らず、当会以外の関係団体や県外の方でも受けていく。締め切りを11月15日あたりに考えている。是非ご参加いただきたい。
- ・3回目の研修は来年の3月、次回の会議は11月中旬を考えている。

【基幹研修Ⅰ】

- ・開催案内については10月の定例会の発送と同封して会員の皆様に発送している。日本協会の構成員の方にも発送している。現在の申込状況は4人。構成員2人。会員2人。一応GWが2つ出来るぐらいの人数は集めたいので、理事の皆さまにお声掛けをお願いするかもしれません。講師の先生は横澤さん、中嶋さん、白鳥さん、GWに神尾さん。昨年から1日にまとめて開催している。10月16日が申し込みの締め切り日になっている。10月中に受講決定案内を送付して11月13日に実施する。

【広報委員会】

- ・8月25日に委員会。ZOOMサロンを10月6日の水に行う。栃木茨木の会長に参加してもらって3県合同研修会、全国大会もあるので、北関東の交流を図ることを目的としている。理事の方積極的な参加をお願いします。
- ・広報紙年2回発行。今年1回目を10月に発行する予定。茂呂さんが営利制作中。来月には発行可能かと。協力いただいた皆様ありがとうございました。
- ・Facebookやホームページ随時更新している。
- ・11月10日（水）に会議を予定している。

【全国大会運営委員会】

- ・8月19日に日本協会の本部と群馬の運営委員会で第1回の企画委員があった。事務の流れやマニュアルの確認があった。情報共有という部分でchatworkを利用しながら連絡調整を行っていく。chatworkの利用の仕方（言葉遣い等）気を付けていきましょう。
- ・10月21日（木）全体会の運営委員会が予定されているのでよろしくお願いします。
- ・副題を運営委員の皆様以案を出していただいて、「自分らしさを発揮できる社会の情勢を目指して」という副題で決まった。これに基づいて分科会やプレ企画など方向性が決まってくる。
- ・Gメッセの予約はまだ仮予約のまま構わない。来年に入ってからの申し込みで大丈夫そう。状況を見ながら利用申し込みのタイミングを考えていきたい。
- ・理事のチャットワークでも流したが、群馬精神保健福祉士会と日本協会の委託契約を結ばせていただきたいと思えます。今回の理事会をもって承認とさせていただき、契約をすすめさせていただきます。
- ・先程の未納者にも通じるが、これで委託費が100万程入り、運営員として動く日当が発生させることが出来る。県士会の会員でありながら、未納で活動するのは齟齬が生じてしまうので、未納者への声かけ、更新手続き進めていただけたらと思えます。協力員かなりの人数必要となってくるので今からでもお声掛けお願い致します。

【施策提言委員会】

- ・公明党と自民党に出した。子ども若者世代の自殺について。児童福祉士のところにソーシャルワーク専門職を置いて欲しい。新型コロナウイルス対策に関する要望に関して。群馬県交通安全条例の一部改正について。生活保護法における冷房器具購入等支給に関する提言。ヤングケアラーの提言。
- ・ホームページに載せて会員皆で共有していきたい。

【災害支援委員会】

- ・7月30日に会議。ハイブリッドで。DWATの推薦を8月下旬から9月にかけて6期を募集。東毛地区の人を集めたいと募集をかけたが、候補者がいなかった。
- ・10月15日に社会福祉士会、医療ソーシャルワーカー協会と情報交換会をzoomで行う予定。
- ・福永さんに2021年度の日本協会のブロック会議に参加していただく予定。

【司法ソーシャルワーク委員会】

- ・9月24日に委員会をひらいた。検察省で精神保健福祉士が事件があった時に助言みたいなものを求められたりするので、そのあり方や活動。参加者が増えればいいね。
- ・司法ソーシャルワークの周知ということで広報紙作ろうという話
- ・全国大会のプレ企画からプレ企画の依頼があった。
- ・つながりネットが5年目。精神保健福祉士が参加していることの意味調査研究をしたい。まとめられた間に合ったら分科会で発表してもいいかなと思う。弁護士、司法書士が120人位参加しているのでアンケート送って回収し分析できればいいかなと思う。
- ・11月後半から12月にかけて委員会を開催する際に石川県士会が司法ソーシャルワークの取り組みをし

ている様なので、情報共有できればと考えている。

【倫理準備委員会】

- ・関東支部からの情報を参考にして、精神保健福祉士の業務の相談窓口という位置づけで取り組んでいきたいと考えている。

4、その他報告事項

- ・特になし

〈文責：藤井〉